協力／キングレコード・松竹ホームビデオ・フジテレビ

Kyoto Hollywood News
京都ハリウッド通信

菅野美穂、ハーレムを仕切る！
フジテレビ・スーパー時代劇「大奥」

大奥という将軍のハーレムで激突する女人絵巻。右から池脇千鶴、菅野美穂、浅野ゆう子。大奥といえば以前にも中山仁、橋ますみ主演「大奥」（昭和43年／関西テレビ）、その姉妹編で浅丘ルリ子、山本陽子主演「徳川女絵巻」（昭和45年／関西テレビ）がある

大奥とは将軍の妻妾が住む、いわば将軍の私邸。その入り口は厳重に仕切られ、将軍以外は男子禁制の場所だった。大奥には千人を越える女性がひしめく、将軍のハーレム。

そのハーレムの頂点に菅野美穂が君臨し、浅野ゆう子と激突するのがフジテレビのスーパー時代劇第3弾「大奥」だ。巨大な迷宮ともいえる江戸城大奥を舞台に、華麗な女人絵巻を展開、ある者は将軍の寵愛を得るために、ある者は幕閣での政治力を得るために、そしてある者は大奥内での出世のために自らの美貌と才能を武器に競い合い、恋愛、憎しみ、怒り、嫉妬、涙、いじめなど様々なドラマが繰り広げられる。

第1部・十三代将軍家定に嫁いだ篤子（菅野美穂）は大奥総取締役・瀧山（浅野ゆう子）の執拗ないじめにあう。人形のような生活で篤子はいかに生きる意味を見つけるのか？

第2部・十四代将軍家茂に嫁いだ皇女和宮（安達佑実）は京都公家風と大奥武家風のしきたりの違いに戸惑い、天皇陛下の娘でありながら姑・実成院（野際陽子）にいびられる。

第3部・幕末、幕府の権威は失墜し、篤子や瀧山は混乱する女中たちを取りまとめ、いかにして大奥の幕を引いたのか。

という3部構成でフジテレビにて6月放送。出演は菅野美穂、浅野ゆう子の他に池脇千鶴、安達佑実、原田龍二、北村一輝、岡田義徳、野際陽子ら。この3部構成で、徳川幕府及び大奥が崩壊していく過程における女人たちのドラマを描く。

死して屍拾う者なし！
幻の「大江戸捜査網」劇場版DVDで参上！

「隠密同心・大江戸捜査網」DVDはキングレコードより発売中。定価4700円（税抜）

隠密同心心得之条、我が命我が物と思わず。武門の儀、あくまで陰にて、己の器量伏し、ご下命いかにても果たすべし、尚、死して屍拾う者無し、死して屍拾う者無し…。

このナレーションでおなじみの大江戸捜査網はテレビ東京の看板番組で、昭和45年から足掛け13年放映された長寿番組。製作は当初、東京の日活撮影所だったが時代劇のセットがなく、セットを建て込むまでのスタート当初は東映京都撮影所で撮影された。主演は杉良太郎、里見浩太郎、松方弘樹、並木史朗、橋爪淳が歴任。今回紹介の劇場版はテレビ東京開局15周年と大江戸捜査網放送四百回突破記念として製作された。出演は松方弘樹、かたせ梨乃、大和田獏、芦田伸介、三船敏郎ら。

京都でネッシーが大暴れ？
～怪獣王子～

「怪獣王子」DVD－BOXはキングレコードより発売中。定価29800円（税抜）

清水寺を破壊する恐竜をネッシーの頭にまたがった少年が撃退！そんなテレビ番組が昭和42年にフジテレビで放映されていた「怪獣王子」だ。当時、世はウルトラマンの放映による怪獣ブーム、東急エージェンシーは特撮番組を製作するため、京都に日本特撮株式会社を設立、「怪獣王子」でブームに参入した。そのストーリーは、謎の火山島に飛行機が墜落、生き残った少年・タケルが恐竜に育てられ、ネッシーと共に地球侵略を企む遊星鳥人と戦うという内容、しかし視聴率的に苦戦、番組は終了し日本特撮株式会社も解散となってしまう。ネッシーの頭にまたがったタケルが「オ～ラ～」と雄叫びをあげてブーメラン片手に戦い、ネッシーも火炎を放射して勇ましく戦う姿に感動した当時の少年世代の方には、特に堪らないだろう。今回、全話がDVD－BOXで復活。京都が生んだ奇跡の番組を再見のチャンスだ！

タランティーノも絶賛！
京都が生んだ超カルトムービー「吸血鬼ゴケミドロ」

あのタランティーノも狂喜した伝説のカルトムービーがついにDVD化。「吸血鬼ゴケミドロ」は松竹ホームビデオより発売中

あのタランティーノも絶大なる影響を受けたと言われる伝説のホラー映画が、松竹京都撮影所で68年に製作された「吸血鬼ゴケミドロ」だ。アメーバ状の宇宙生物が人体に乗り移り、吸血鬼と化して地球を征服する。

乗り移る人間の眉間をザクロのように裂いて、その傷口からゴケミドロが体内に入り込む描写は圧巻で、そのインパクトある映像は壮絶にしてトラウマになる事間違いなし。

このSFホラーの傑作がDVD化、松竹ホームビデオより発売される。価格は3800円（税抜）。単品発売の他に松竹が製作したSF怪奇作品「吸血鬼軍船」「昆虫大戦争」「宇宙大怪獣ギララ」を含めた4作品をセットにしたBOX（25200円／税抜）も発売。メタリック特製BOXに各作品のフィギュア、プレスシート、ガラス乾板（樹脂製）という豪華特典付き。

今月の言葉

今回はゴールデンウイーク進行で締め切りがいつもより早いのに、小生の筆は遅く、担当のT氏にはご迷惑をおかけして恐縮している次第。遅いと言えばVシネの企画も相変わらず遅々として進まず。そうこう考えているうちに自分のアイディアに飽きて来て、根本的な構想から練り直しになりそうな事態になり、だんだん突飛な発想に進んで、慌てて軌道修正している始末。来月にはまとまっているはずなのだが如何に…？

２００３年６月１日　山田誠二

責任編集人
山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

トピックス

北野武「座頭市」撮影開始

北野武が座頭市を演じると聞いて仰天した出演が始動。4月に撮影が開始された。出演は浅野忠信、夏川結衣、岸部一徳ら。浅野忠信が敵の浪人という以外はストーリーは不明。北野武は現在の金髪のまま座頭市を演じると言って周囲をさらに仰天させている。

角川大映で「妖怪大戦争」始動！

大映を買収した角川書店による新生角川大映が、かつての大映京都製作「妖怪大戦争」のリメイクを決定した。「妖怪大戦争」はパピロ一二アの吸血妖怪ダイモンが江戸時代の日本に襲来し、日本を征服しようとするが、日本の妖怪たちが立ち上がり、ダイモンと日本妖怪軍が大戦争を繰り広げるという物語。

企画の発端は作家の宮部みゆきが角川社長と食事中に「あの映画は面白かった」という発言から、一週間後には決定。角川書店から発売されている妖怪研究誌「怪」のメンバーである水木しげる、荒俣宏、宮部みゆき、京極夏彦が集められ、角川会長より、このメンバーで、企画をまとめてプロデュースし、三部構成で、3作品を製作の予定で考えてほしいと依頼されたという。これだけの妖怪の専門家の面々が集う企画の実現が待たれる！